

LRQA独立保証証明書

森永乳業グループのコーポレート WEB サイトのサステナビリティページで開示される 2025 年度環境データに関する保証

この保証証明書は、契約に基づいて森永乳業株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、森永乳業株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、コーポレート WEB サイトのサステナビリティページで開示される 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）¹の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE3000（改訂版）及び GHG 排出量については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的保証レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社の直系 11 工場と国内外生産子会社（17 社の製造拠点（21 工場）における運営及び活動に対して、以下の要求事項を対象とする。²

- 以下の選択されたデータに対して、会社の定める報告基準への適合性の検証
- 以下の選択された環境データの正確性、信頼性の評価³
 - スコープ 1 GHG 排出量（トン CO₂）⁴
 - スコープ 2 GHG 排出量 [マーケット基準]（トン CO₂）
 - スコープ 3 GHG 排出量（カテゴリ 1）（トン CO₂e）⁵
 - エネルギー消費量（MWh）

LRQA の保証業務は、報告書に言及されている上記に明示した以外の会社のサプライヤー、業務委託先及び第三者のデータや情報は対象としていない。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる表 1 に要約される環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。この保証証明書で表明された検証意見は、限定的保証水準⁶、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

表 1. 森永乳業グループの 2025 年度環境データの要約

スコープ	
Scope 1 GHG 排出量	231,480 tCO ₂
Scope 2 GHG 排出量（マーケット基準）	15,326 tCO ₂
Scope 3 GHG 排出量：カテゴリ 1	1,879.5 千 tCO ₂ e
エネルギー消費量	1,658,769 MWh

¹ 海外は 2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日。

² 東北森永乳業秋田工場敷地内にある秋田オリオンフーズ、東京多摩工場の敷地内にある東日本市乳センターと技術開発部、神戸工場の敷地内にある西日本市乳センターと関西酪農事務所の実績が含まれている。

³ GHG の定量化は固有の不確かさが前提となる。

⁴ エネルギー起源 CO₂のみを対象とする。また、非生産用途の燃料使用量と CO₂ 排出量は集計結果には含まれていない。

⁵ 海外及び株式会社フリジボートの活動量が除外されている。

⁶ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

保証手続

LRQA の保証業務は、ISO14064-3: 2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の脱漏及び誤表記が無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 集計された 2025 年度のエネルギー使用量および GHG 排出量データ並びに記録を検証した。
- データマネジメントシステムの運用状況を評価するため、森永乳業株式会社本社、森永乳業株式会社別海工場、および沖縄森永乳業株式会社を訪問した。

観察事項

保証業務における観察事項及び発見事項は以下の通りである。

会社が今後更に報告書における正確性、信頼性を向上することが期待される。その際、会社本体及びサイトにおける内部検証プロセスをより効果的にすることが期待される。

基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 “温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。

全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、そのため我々の独立性あるいは中立性を損なうことはない。

2026 年 7 月 25 日

署名

清水佐衣子

清水 佐衣子

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

飯尾隆弘

飯尾 隆弘

LRQA テクニカルレビューアー

LRQA reference: YKA00000882

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2026.